

財団法人 日本サッカー協会
平成20年度 第9回理事会

報告事項

1. F I F Aクラブワールドカップの件	
I. 大会スケジュール ※（報告）資料No.1	
II. F I F Aデレゲーション	
F I F A会長	ジョセフ・S・ブラッター
F I F A事務総長	ジェローム・バルク
F I F A理事会	23名
F I F A F C W C組織委員会	15名
大陸連盟事務総長	6名
F I F A審判委員会	4名
F I F A懲罰委員会	3名
ジェネラルコーディネーター	3名
アシスタントジェネラルコーディネーター	2名
F I F A T S Gグループ	2名
F I F Aメディカルオフィサー	3名
F I F Aメディアオフィサー	5名
セキュリティオフィサー	1名
チーム所属F A会長	5名
F I F A会長室	5名
F C W C組織委員長補佐	1名
F I F A事務局	41名
	総数 約120名
2. A F Cプロリーグプロジェクトの件	
I. 第9回A F Cプロリーグ特別委員会について	
A F Cプロリーグ特別委員会第9回会議における決定事項は以下の通り。	
尚、本決定事項は、10月30日に開催された第8回会議の決定事項・協議事項とあわせて、11月26日のA F C理事会において提案され、承認を得た。	
1. 活動報告	
1) L G Cオブザーバーズプログラム	
➤ 11月3～5日にL G Cオブザーバーズプログラムを日本で開催され、5協会から12名が出席し、プログラムが成功裡に終了したことが報告された。	
2) プロモーションスケジュール	
➤ ドローに関しては、1月7日にU A Eのアブダビで行うことが確認された。	
➤ 新たなA C Lのトロフィーデザインが紹介された。	
2. 決定事項	
1) 最終評価	
➤ 最終評価結果とクラブの商業的法人の取得状況が報告された。	

- 参加基準におけるカテゴリー分け・ポイントランキングについて、確認された。

■カテゴリー分け

Aカテゴリー：参加基準に達成した国

イラン・中国・オーストラリア・日本

Bカテゴリー：商業的法人の取得以外の参加基準が達成した国/12月15日にすべてのクラブの商業的法人の取得が確約されている。

サウジアラビア・UAE・ウズベキスタン・カタール・韓国・インドネシア

Cカテゴリー：参加基準を達成できない国

インド・シンガポール・タイ・ベトナム

■ポイントランキング

ランキング	加盟協会	総合ポイント	ランキング	加盟協会	総合ポイント
1	日本	470	8	インドネシア	296
2	韓国	441	9	ウズベキスタン	289
3	中国	431	10	シンガポール	279
4	サウジアラビア	365	11	カタール	270
5	UAE	356	12	タイ	221
6	オーストラリア	343	13	インド	202
7	イラン	340	14	ベトナム	191

2) ACL参加協会/クラブ数



- 今回の決定は、2009年-2010年のACLに関する決定で、2011年-2012年は、見直しされることが再度確認された。参加協会/クラブ数の決定に際し、参加基準・ポイントランキング・リーグ数の考慮（1/3）・参考数値（各MAのポイントから算出される目安枠数）について、考慮することが説明された。また、東側16チーム（15枠+プレーオフ1枠）/西側16チーム（15枠+プレーオフ1枠）にて検討することが確認された。

- 参加協会/クラブ数に関しては、以下の決定プロセスを用いることが説明された。

- ① ポイントが250-300：1枠か2枠
- ② ポイントが300-400：3枠か4枠
- ③ ポイントが400-500：4枠
- ④ 協会枠はリーグクラブ数の最大1/3
- ⑤ 参考数値によって枠の分配を考慮

- ▶ 参加協会/クラブ数に関して、協議がなされた結果、下記の通り決定した。

加盟協会	参加枠			加盟協会	参加枠		
	ACL	プレーオフ	AFC Cup		ACL	プレーオフ	AFC Cup
イラン	4			日本	4		
サウジアラビア	4			中国	4		
UAE	3	1		オーストラリア	2		
ウズベキスタン	2			韓国	4		
カタール	2			インドネシア	1	1	
インド		1	1	シンガポール		1	1
				タイ		1	1
				ベトナム		1	1
合計	15	2	1	合計	15	4	3

- ▶ クラブのコマーシャルエンティティ取得について、現時点で満たしていない協会は、2008年12月15日までに必要書類を提出しなければならないことが確認された。

3) 大会フォーマット

- ▶ 参加協会を入れ込んだACL2009の大会フォーマットが確認された。
- ▶ プレーオフに関する考え方・参加協会/クラブ数・東西枠・AFC1位/2位・フォーマット・出場資格については、添付資料をもとに下記の通り説明された。
 - ・UAEは、西側に配置され、インドネシアは、東側に配置される。
 - ・AFCカップ1位もしくは2位は、西側に配置され、AFCカップ2位もしくは1位は、東側に配置される。
 - ・インド、シンガポール、タイ、ベトナムは、プレーオフに出場する資格を得る。但し、フォーマット・東西の配置・試合日に関しては、12月15日に提出されるチームエントリーを含めた必要書類をAFCが審査し、最終出場クラブを確定した上で、決定される。

西グループ	東グループ
UAE	インドネシア
AFC Cup 1位	AFC Cup 2位
インド	シンガポール, タイ, ベトナム

4) AFCカップ参加協会/クラブ数

- AFCカップに関する考え方・参加国/クラブ数・東西枠・フォーマットについて確認された。

5) レギュレーション

- 新ACLの競技レギュレーションが最終化された。

3. 関連事項

1) 今後の予定

- 今後の理事会・記者会見の予定が説明された。
- 川淵委員長より、今回の会議をもって、このAFCプロリーグ特別委員会が解散することが伝えられ、委員の皆様と各MAの関係各位に対する感謝の意を述べられた。また、サウジアラビアの改革の経緯も紹介され、今後のプロモーションの重要性も強調された。最後にこのプロジェクトは正に始まったばかりであり、今後もプロジェクトを成功させるために関係各位の更なる努力が必要である旨が述べられた。

II. 新ACL発表会 “ New AFC Champions League Launch “について

日時：20年12月12日 17:30-19:30

場所：Toyota Megaweb（お台場）

参加者：各協会会長・各リーグ代表・所属クラブ会長・FIFA・AFC等

3. AFC女子アワード2008の件

11月20日マレーシアにてAFC女子アワード2008が開催された。日本関連の受賞者は以下の通り。

最優秀女子プレーヤー	澤 穂希（日テレ・ベレーザ） （3位）宮間 あや（岡山湯郷Bellie）
最優秀女子ユースプレーヤー	岩渕 真奈（日テレ・メニーナ）
最優秀女子アシスタントレフェリー	吉澤 久恵（2000年以来2度目の受賞）
最優秀女子レフェリー	馬場 佐知子

4. AFCアワード2008の件

11月25日中国にてAFCアワード2008が開催された。日本関連の受賞者は以下の通り。

ダイヤモンドオブアジア賞	故 長沼 健（前最高顧問）
最優秀監督	西野 朗（ガンバ大阪）
最優秀クラブチーム	ガンバ大阪
フェアプレー賞	JFA
最優秀代表チーム	日本代表

5. AFC理事会 報告の件

11月26日にAFC理事会が上海／中国にて開催された。主な事項は以下の通り。

■ 2009年AFC総会の日程・開催地

- ・ 2009年5月8日クアラルンプールにて開催されることが確認された。
※7月理事会でも確認済み

■ AFC本部 移転候補地の募集

- ・ 応募期限までに、カタール、UAE、シンガポール（条件付き）の3ヶ国が立候補した。
- ・ 現所在地であるマレーシアについては、トンクー・アブドラAFC副会長（マレーシア）がマレーシア政府・マレーシア協会と諸条件の折衝を別途行い、2009年1月15日までに結論を出すことになった。
- ・ その後の手続きは、マレーシアとの折衝の結果を見て決定される。

■ AFC理事改選

AFC副会長と理事の任期は2年と4年の2通りあるが、どの理事がどちらの任期か事前の定めが無いことを受け、任期の振り分けを会長に一任することが過去の理事会で確認されていた。ところが、会長一任はやはり適切でないとの考えのもと再度議論することを会長が提案した。議論を行うも結論は出ず、今後の手続きは未決のまま継続審議となった。

■ AFCフットサルクラブ選手権 2009

下記10カ国の参加により、2009年7月に開催されることが決定した。開催国は未定。

[参加国]

中国、イラン、イラク、日本、キリギス、タジキスタン、タイ、ウズベキスタン、カタール、オーストラリア

6. AFC会議の件

11月に開催されたAFC各種委員会への委員出席者は以下の通り。

11月13日	ユース大会組織委員会	小倉 副会長
20日	女子委員会	今井 技術部テクニカルハウス
23日	レフェリーイヤー特別委員会	松崎 理事
	審判委員会	上川 トップレフェリーインストラクター
24日	テクニカル・ビジョンアジア委員会	今井 技術部テクニカルハウス
	競技会委員会	小倉 副会長
25日	プロリーグ特別委員会	川淵 名誉会長・鈴木 特命担当本部長
26日	理事会	小倉 副会長

7. FIFA会議の件

12月に開催されるFIFA各種委員会への委員出席者は以下の通り。

12月18日	クラブフットボール委員会	藤口 浦和レッズ社長
19日	クラブワールドカップ組織委員会	川淵 名誉会長
19日・20日	理事会	小倉 副会長

8. 日本サッカーミュージアムの件

1) 入場者数報告

11月 2,177人 1日平均 83.7人

(2007年 2,118人 2006年 3,392人 2005年 3,460人 2004年 2,565人)

※2003年12月に開館

2) 特別企画展示「サッカーマガジンミュージアム」開催

期間 12月2日(火)～2月22日(日)

協力 株式会社ベースボール・マガジン社、「週刊サッカーマガジン」

Jリーグフォト株式会社、株式会社Jリーグメディアプロモーション

3) サッカー通りウインターイルミネーション

JFAハウスサッカー通り側植栽にてウインターイルミネーションを実施。

12月2日(火)～1月12日(祝) 毎日17:00から21:00

点灯式 12月2日(火) 17:00

4) メンテナンス

11月17日(月)～11月29日(土) ヴァーチャルスタジアム改装工事

12月8日(月)、15日(月)、16日(火) 自動券売機および入場ゲート入替え工事

このため、12月16日(火)を特別休館とする。

9. 大会役員・審判員 国際試合派遣の件

(役員)

① AFC インストラクター・アセッサー研修/エリートレフェリー研修

インストラクター: 石山 昇

期 間: 2009年1月7日(水)～24日(土)

場 所: クアラルンプール/マレーシア

10. 2008年度サッカー1級審判員認定の件

※(報告)資料No.2

別紙の審判員はいずれも1級審判員としての技量があると判断されたので、2008年12月7日付けで1級審判員として認定した。

11. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(更新)の件

(更新)

1. 公認申請者: NPO法人北海道スポーツクラブ

施 設 名: 札幌サッカーアミューズメントパーク 人工芝サッカー場

施設所有者: NPO法人北海道スポーツクラブ

ロングパイル人工芝: ドリームターフ(F70NE)/積水樹脂株

公認期間: 平成20年11月10日～平成23年11月9日

公認番号: 第28号

<特記事項>

◆公認規程に基づき1回の検査(フィールドテスト)を実施し、

JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公認申請者：兵庫県

施設名：兵庫県立淡路佐野運動公園第3サッカー場[兵庫県・洲本市]

施設所有者：兵庫県淡路県民局長 長 棟 健 二

ロングパイル人工芝：ハイブリッドターフ（XP-62）/SRIハイブリッド(株)

公認期間：平成21年2月9日～平成24年2月8日

公認番号：第34号

<特記事項>

- ◆公認規程に基づき1回の検査（フィールドテスト）を実施し、
JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。

12. 競技会開催申請及び名義使用申請の件

(1) 申請団体：(財)静岡県サッカー協会

大会名：第16回静岡新春ジュニアU-11サッカー大会

主催：(財)静岡県サッカー協会

主管：(財)静岡県サッカー協会中部支部、中部支部4種少年委員会

後援：(財)静岡観光コンベンション協会、静岡市体育協会、静岡市教育委員会

協賛：静岡トレーニングセンター、静岡市ホテル旅館協同組合、(株)モルテン、
(株)エスエスケイ、JAPAN KOREA NETWORK

期 日：2009年1月10日(土)～12日(月)

会 場：静岡県草薙陸上競技場・球技場 他

参加チーム：(男子)国内23チーム、韓国 金浦イ・ヘテク球戯教室、(女子)国内12チーム

入 場 料：無料

(2) 申請団体：(財)埼玉県サッカー協会

大会名：第15回熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ2009」

主催：(財)日本サッカー協会、(財)埼玉県サッカー協会、熊谷市、熊谷市教育委員会

主管：熊谷市高校女子サッカー大会「妻沼カップ」実行委員会

後援：毎日新聞社、埼玉県、(財)埼玉県体育協会

協 賛：(株)モルテン

期 日：2009年3月25日(水)～29日(日)

会 場：熊谷市利根川総合運動公園サッカー場、熊谷市妻沼運動公園

参加チーム：48チーム

試合の種類：無料試合

13. 海外遠征申請の件

(1) 全国高等専門学校サッカー連盟

チ ー ム 全国高等専門学校選抜チーム (第1種)

遠征期間 2009年3月15日(日)～24日(火)

遠 征 先 ドイツ ミュンヘン

(2) (財)東京都サッカー協会

チ ー ム 関東第一高等学校 (第2種)

遠征期間 2009年3月13日(金)～29日(日)

遠征先 ブラジル サンパウロ

(3) (財)広島県サッカー協会

チーム サンフレッチェ広島 (第1種)

遠征期間 2009年2月1日(日)～14日(土)

遠征先 トルコ アンタルヤ

14. U-19(FIFAU-20ワールドカップ 2009)日本代表 AFCU-19選手権サウジアラビア2008の件

行事名 : U-19(FIFAU-20ワールドカップ)日本代表 AFCU-19選手権サウジアラビア 2008

期間 : 2008年10月23日(木)～11月12日(水)

場所 : 大阪市・ダンマン (サウジアラビア)

[スケジュール]

10月23日(木) 集合・トレーニング

| トレーニング

25日(土) サウジアラビアへ移動

26日(日)

| トレーニング

30日(木)

31日(金) グループリーグ vs イエメン 16:15 ダンマン

11月2日(日) グループリーグ vs イラン 18:45 ダンマン

4日(火) グループリーグ vs サウジアラビア 16:15 ダンマン

8日(土) 準々決勝 vs 韓国 16:15 ダンマン

12日(水) 帰国・解散

[スタッフ]

団長 : 小野 剛 ((財)日本サッカー協会理事)

技術委員 : 布 啓一郎 ((財)日本サッカー協会ユースディレクター)

監督 : 牧内 辰也 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 大熊 裕司 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ/セレッソ大阪)

GKコーチ : 慶越 雄二 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

ドクター : 根塚 武 (西能病院)

アスレチックトレーナー : 並木磨去光 (スポーツマッサージ・ナズー)

総務 : 山下 恵太 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)

キットマネージャー : 服部 智博 (アディダスジャパン(株))

テクニカルスタッフ : 田島 一樹 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)

[選手]

GK 権田 修一 (FC東京)

松本 拓也 (順天堂大学)

大谷 幸輝 (浦和レッズ)

- DF 藺田 淳 (川崎フロンターレ)
 吉田 勇樹 (川崎フロンターレ) ※追加招集
 鎌田 翔雅 (湘南ベルマーレ)
 大野 和成 (アルビレックス新潟)
 村松 大輔 (Honda FC)
 金井 貢史 (横浜F・マリノス)
 岡本 知剛 (サンフレッチェ広島)
 高橋 峻希 (浦和レッズユース) ※途中離脱
- MF 香川 真司 (セレッソ大阪) ※10/27-11/5のみ参加
 下田 光平 (FC東京)
 鈴木 惇 (アビスパ福岡)
 木暮 郁哉 (アルビレックス新潟)
 青木 拓矢 (大宮アルディージャ)
 山本 康裕 (ジユビロ磐田)
 水沼 宏太 (横浜F・マリノス)
 河野 広貴 (東京ヴェルディ)
 原口 元気 (浦和レッズユース)
- FW 永井 謙佑 (福岡大学)
 遠藤 敬佑 (水戸ホーリーホック)
 宮澤 裕樹 (コンサドーレ札幌)
 柿谷曜一朗 (セレッソ大阪)

以上 23名

15. フットサル日本代表 FIFAフットサルワールドカップブラジル2008の件

行事名：フットサル日本代表 FIFAフットサルワールドカップブラジル2008
 期間：2008年9月11日(木)～10月11日(土)
 場所：ミルウォーキー(アメリカ)、リオデジャネイロ・ブラジリア(ブラジル)

[スケジュール]

- 9月11日(木) 集合、ミルウォーキーへ移動
 12日(金)、14日(日) 国際親善試合 vs. フットサルアメリカ代表
 15日(月) リオデジャネイロへ移動
 26日(金) ブラジリアへ移動
 30日(火) FIFA Futsal World Cup Brazil 2008 vs ブラジル代表
 10月4日(土) FIFA Futsal World Cup Brazil 2008 vs ソロモン諸島代表
 6日(月) FIFA Futsal World Cup Brazil 2008 vs キューバ代表
 8日(水) FIFA Futsal World Cup Brazil 2008 vs ロシア代表

[スタッフ]

- 団 長 : 大仁 邦彌 ((財)日本サッカー協会副会長)
 監 督 : セルジオ・サッポ ((財)日本サッカー協会)

フィジカルコーチ	:	ルーカス	((財)日本サッカー協会)
ドクター	:	木下 裕光	(筑波技術大学)
アスレティックトレーナー	:	大場 真孝	(大場スポーツマッサージ療院)
通 訳	:	エジソン土井	((財)日本サッカー協会)
テクニカルスタッフ	:	相根 澄	(フリー)
総 務	:	村山 勉	((財)日本サッカー協会代表チーム部)
キットマネージャー	:	服部 智博	(アテンド・スジャパン)

[選 手]

G K	定永 久男	(名古屋オシヤンス)
	川原 永光	(ハルトラル浦安)
	青柳 圭祐子	(ハジイ大分)
F P	比嘉 利カト	(テウソン神戸)
	藤井 健太	(ハルトラル浦安)
	前田 喜史	(名古屋オシヤンス)
	稲田 祐介	(ハルトラル浦安) ※追加招集
	金山 友紀	(ハーストラー町田)
	木暮 賢一郎	(グアダラハラ/スペイン)
	小宮山 友祐	(ハルトラル浦安)
	小野 大輔	(ハルトラル浦安)
	高橋 健介	(セコビア/スペイン) ※負傷により途中離脱
	北原 亘	(名古屋オシヤンス)
	稲葉 洸太郎	(ハルトラル浦安)
	小曾戸 允哉	(ハジイ大分)

以上 14 名

16. J F A エリートプログラム U-13 の件

行事名：J F A エリートプログラム U-13
 期 間：2008 年 11 月 29 日(土)～12 月 3 日(水)
 場 所：兵庫県・アスコザパーク T A N B A

[スケジュール]

11 月 29 日(土)	集合・J リーグ試合観戦 (ガンバ大阪 対 浦和レッズ)
	トレーニング
30 日(日)	トレーニング・試合 U-13 日本代表 対 F C ライオス
12 月 1 日(月)	トレーニング
2 日(火)	トレーニング・試合 U-13 日本代表 対 ヴィッセル神戸ジュニアユース
3 日(水)	トレーニング・解散

[スタッフ]

監 督	:	足達 勇輔	((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)
-----	---	-------	---------------------------

コーチ : 木村 康彦 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)
 GKコーチ : 望月 数馬 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)
 ドクター : 常深 健二郎 (兵庫医科大学病院) 11月29日
 アスレティックトレーナー : 中堀 千香子 (JFAアカデミー福島) 11月29日～12月1日
 アスレティックトレーナー : 石井 規之 (大阪リポート&スポーツ専門学校) 12月1日～12月2日
 テクニカル : 大島 琢 (筑波大学)

[選手]

GK 阿波加 俊太 北海道 (コンサドーレ札幌ユースU-15)
 GK 棟方 博文 大阪府 (ガンバ大阪ジュニアユース)
 望月 嶺臣 滋賀県 (セゾンフットボールクラブ)
 中山 知之 福島県 (JFAアカデミー福島)
 深井 一希 北海道 (コンサドーレ札幌ユースU-15)
 池松 大騎 長崎県 (ナガサキアシストサッカーユニオン U-15)
 浅海 亮磨 広島県 (サンフレッチェ広島 F.C.ジュニアユース)
 小西 智貴 兵庫県 (ウエッセル神戸ジュニアユース)
 関根 貴大 埼玉県 (浦和レッズダイアモンズジュニアユース)
 川森 直威 三重県 (FC四日市)
 鴨池 陽希 東京都 (FC東京U-15むさし)
 金子 翔太 福島県 (JFAアカデミー福島)
 石川 朝貴 福島県 (JFAアカデミー福島)
 川井 翔太 大阪府 (吹田JFC千里丘)
 石井 光 秋田県 (FCあきた ASPRIDE)
 小川 直毅 大阪府 (ガンバ大阪ジュニアユース)
 鈴木 浩一郎 神奈川県 (横浜F・マリノスジュニアユース)
 畠中 慎之輔 東京都 (東京ヴェルディイジュニアユース)
 山田 武典 青森県 (七戸町立七戸中学校)
 高木 大輔 東京都 (東京ヴェルディイジュニアユース)
 夏目 黎 徳島県 (徳島ヴォルティスジュニアユース)
 松川 宏二 京都府 (京都サンガF.C. U-15)

計 22名